

Strix 10 : 293-295 (1991)

橋梁の特殊な構造を利用したイワツバメ *Delichon urbica* の営巣例

三谷康則<sup>1</sup>・溝杭義晃<sup>2</sup>・森田俊司<sup>3</sup>・西山耕司<sup>4</sup>・山子恵宏<sup>5</sup>・黒田治男<sup>6</sup>

イワツバメ *Delichon urbica* の巣は、一般に山地、海岸などの岸壁や学校、旅館、倉庫、駅、神社、寺などの軒、壁、天井、橋げた、ビルなどの壁面に、泥と枯れ草を使い、つぼ型につくられている（日本野鳥の会 1980, 日本野鳥の会山口県支部 1990）。兵庫県の播磨地方で観察されたイワツバメの巣は、どれもコンクリートの橋の下につくられていた（三谷 1990）。その橋を下からのぞくと溝の深さが80~90cm, 幅が80cm~2mもあるΠ型の橋の垂直な壁面に営巣していることがごく一般で、何段も積み重ねた巣も見つかった。兵庫以外の観察例を調べてみると、長野県ではビルや村役場の壁面に営巣しており（下条 1976）、東京都では駅前の小田急線の高架で観察されている（浜口 1978）。また、神奈川県では大きな建物のひさしや吹きぬけ、橋げたが多く利用されている（浜口・端山 1984, 大内ほか 1985）。

1991年6月9日、播磨地方で観察されたひとつの橋に、変わったつくりで営巣しているイワツバメの集団営巣地を発見した。その橋は1979年9月に完成した、兵庫県宍粟郡波賀町原の引原川上流にかかる原南大橋で、長さ60m幅9mのコンクリートの橋である。この橋の特徴として橋の真真中に橋脚が1基あり、その上にかかる橋げたの下で縦方向に7本の溝が通っている。溝の深さは10cmで、幅は7cmとたいへん細い溝になっている。イワツバメはこの細い溝を利用して営巣し、巣は細い溝からはみ出さず真四角な型で数個ずつ並んでおり、横から見ると巣がまったく見えなかった（図1）。原南大橋で確認された巣の数は合計53個であった。また、市川上流の新寺前橋（神崎郡大河内町）では細い鉄パイプを利用した営巣例も見つかった（図2）。

引用文献

- 下条恭子. 1976. 人に巣をこわされる〈イワツバメ〉. 続・野鳥の生活. 羽田健三監修, pp. 138-142. 築地書館, 東京.
- 日本野鳥の会. 1980. 鳥類繁殖地図調査 1978 [第2回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告書 (鳥類) 全国版]. 日本野鳥の会, 東京.
- 日本野鳥の会山口県支部. 1990. 山口県版鳥類繁殖地図調査報告書. 日本野鳥の会山口県支部, 山口県.
- 大内勝彦・唐沢良子・北川淑子・神戸邑・関野守男・関野祥子・多田信三・沼里和幸・浜口哲一.

1991年8月20日受理

1. 〒671-21 兵庫県飾磨郡夢前町塩田 78-4
2. 〒671-16 兵庫県揖保郡揖保川町神戸北山 223-20
3. 〒672 兵庫県姫路市飾磨区下野田 736-1
4. 〒678-02 兵庫県赤穂市上飯屋北 20-13
5. 〒671-25 兵庫県宍粟郡山崎町山崎 82-1
6. 〒671-15 兵庫県揖保郡太子町鶴 1055

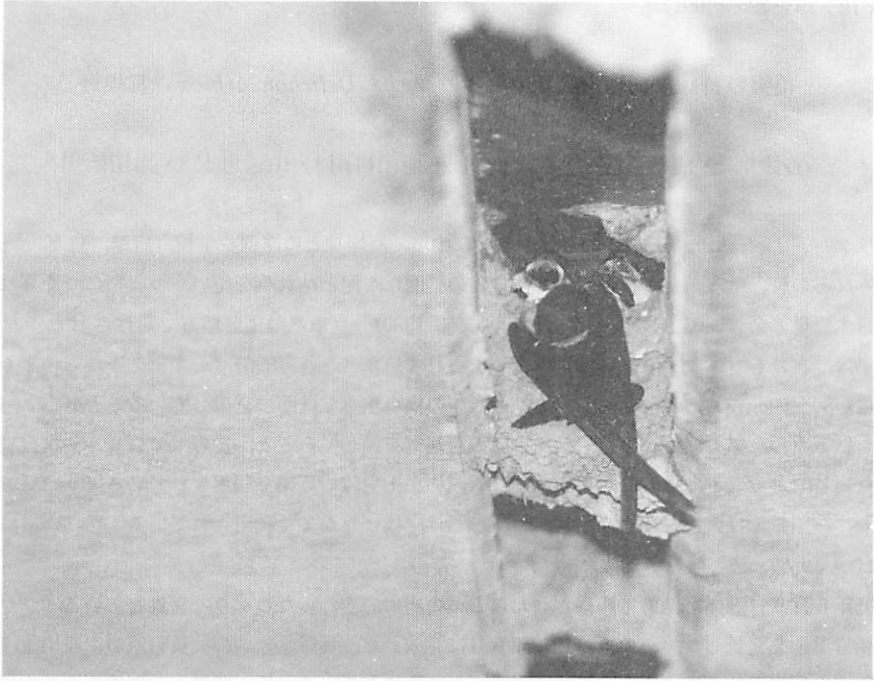


図1. 原南大橋の細い溝を利用したイワツバメの巣.

Fig. 1. Nests of House Martins build in a narrow groove under Hara-Minami bridge.



図2. 新寺前橋の鉄パイプを利用したイワツバメの巣.

Fig. 2. Nests of House Martins build on a steel pipe under Shin-Teramae bridge.

1985. 神奈川県下のイワツバメのコロニーについて. 平塚市博物館研究報告 自然と文化 (8): 51-61.
- 浜口哲一. 1978. ツバメ類の巣をめぐって. 私たちの自然 (195): 12-16.
- 浜口哲一・端山昇. 1984. 神奈川県内におけるツバメ類の繁殖分布. 神奈川自然誌資料 5: 33-43.
- 三谷康則. 1990. イワツバメについて. 西播愛鳥会ニュース 44: 2-4.

Nests of the House Martin *Delichon urbica* built under concrete bridges

Yasunori Mitani<sup>1</sup>, Yoshiteru Mizogui<sup>2</sup>, Shunji Morita<sup>3</sup>,  
Kouji Nishiyama<sup>4</sup>, Eko Yamane<sup>5</sup> and Haruo Kuroda<sup>6</sup>

We observed the nests of House Martins in the southwestern part of Hyogo Prefecture, and found that nests were built under concrete bridges. We found a breeding colony consisting of 53 unusual-shaped nests at a bridge, the Hara-Minami Oohasi. The bridge is 60 m long and 9 m wide. The nests were square-shaped and were built in narrow grooves under the bridge. The depth of each grooves was 7 cm in length and 10 cm in width.

1. Shiota 78-4, Yumesaki-cho, Shikama-gun, Hyogo 671-21
2. Kanbekitayama 223-20, Ibo-gawa-cho, Ibo-gun, Hyogo 671-16
3. Shimonoda 736-1, Shikama-ku, Himeji-shi, Hyogo 672
4. Kamikariyakita 20-13, Ako-shi, Hyogo 678-02
5. Yamasaki 82-1, Yamasaki-cho, Shisou-gun, Hyogo 671-25
6. Ikaruga 1055, Taishi-cho, Ibo-gun, Hyogo 671-15